

令和4年3月25日

養父市議会議長 西田 雄一 様

予算特別委員会

委員長 藤原 芳巳

予算特別委員会審査報告書

令和4年3月1日、本委員会に付託された事件は審査の結果、下記のとおり決定したので、養父市議会会議規則第101条の規定により報告します。

記

1 審査年月日

令和4年3月3日(木)・4日(金)・7日(月)・8日(火)・10日(木)・11日(金)

2 審査結果

議案番号	事 件 名	審査結果
議案第1号	令和4年度養父市一般会計予算	原案可決すべきもの
議案第2号	令和4年度養父市国民健康保険特別会計予算	原案可決すべきもの
議案第3号	令和4年度養父市養父歯科診療所特別会計予算	原案可決すべきもの
議案第4号	令和4年度養父市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決すべきもの
議案第5号	令和4年度養父市介護保険特別会計予算	原案可決すべきもの

議案番号	事 件 名	審査結果
議案第 6 号	令和 4 年度養父市水道事業会計予算	原案可決すべきもの
議案第 7 号	令和 4 年度養父市下水道事業会計予算	原案可決すべきもの

3. 審査意見書

別紙のとおり「令和 4 年度予算に対する意見」を付する。

令和4年度予算に対する意見

第110回定例会
令和4年3月25日

予算特別委員会

1 総括的事項

予算特別委員会は、3月3日から11日までの間、付託された令和4年度一般会計、4特別会計及び2企業会計の総額299億5,998万円の当初予算について、慎重に審査を行った。

まず、一般会計の歳入歳出予算総額は、184億3,000万円で、令和3年度当初予算の197億3,000万円より13億円減少している。

歳入の概要は、市税、使用料及び手数料、繰越金、諸収入などの自主財源が49億8,645万円(27.1%)で、地方交付税、市債、国・県支出金などの依存財源が134億4,355万円(72.9%)と極めて高く、財政基盤の弱い財政構造となっている。また、地方交付税は87億2,000万円で、令和3年度より1億8,000万円の減額を見込んでいる。

一方歳出は、人件費、公債費及び扶助費の義務的経費が74億2,545万円(40.3%)、普通建設事業費などの投資的経費が18億8,847万円(10.2%)、補助費等、繰出金、物件費など、その他経費が91億1,608万円(49.5%)となっている。

また、令和4年度末における全会計の地方債残高は、251億4,475万円であり、財政調整基金、減債基金、特定目的基金などの基金総額は、142億8,248万円が見込まれている。

合併後、最大の事業であった文化会館建設が終わり特記すべき事業は、市民のデジタル意識の向上を目指す「デジタルクーポン事業」1億3,374万円、子どもたちを将来的自立につなぐ「子ども第三の居場所整備事業」7,300万円、地域包摂システムの実現に向けた「関宮地域小さな拠点整備事業」7,000万円、ドローン活用の拠点としての「ドローンフィールド拠点整備事業」1,500万円などである。

市政テーマは、「未来の養父市をデザインする～心ときめく快適な社会の創造～」とし、次の世代が住む養父市に思いをはせた、視点を新たにしたものとなっている。市政運営の基本方針においては「養父市まちづくり計画」に基づく養父市の未来を見据えた新たな動きと市民や事業者に寄り添った事業展開を両輪に据えている。その上で、国のデジタル田園都市構想による地方からのデジタル実装に呼応して、デジタル技術を活用した地域の課題解決をうたっている。

長期化するコロナ禍において市民の命を守る取組と共に、疲弊した地域経済の回復に向けた取組が求められる。行政経営マネジメント研修により、職員の市民起点の意識がさらに高まり、市民や事業者にとって効果的な施策が展開されることを期待するものである。

2 個別的事項

【 議案第1号 令和4年度養父市一般会計予算 】

- (1) メタバースなど新しい事業については、その事業目的を踏まえ、効果を検証しながら計画的に進められたい。
- (2) デジタルの活用は避けられないものであるが、どう市民理解につないでいくかが大切である。高齢者の多い養父市においては、デジタル社会の利便性のみならず、ネット被害などのリスクも含めて十分に理解を求めながら進められたい。
- (3) 高齢ドライバーの運転免許証の自主返納が増えていることに伴い、高齢者の買い物や外出支援へのさらなる充実が求められる。今後のニーズを踏まえ、将来的な地域公共交通施策のあり方について検討されたい。
- (4) 養父市における地域おこし協力隊の定着率は国の平均より低く、但馬3市2町で最も低い。制度の目的を踏まえ、しっかりと原因分析を行い、定着率が上がるよう環境改善等に努められたい。
- (5) 屋根の雪下ろしについては、補助要件の緩和が必要と思われる。福祉の範囲にとどめず、幅広く市民生活を支える施策として検討されたい。
- (6) 養父市が有機農業や環境保全型農業をさらに推進する方向性を持ったことは評価できる。細やかな農業施策の実践を積み上げることで養父市の農業を支え、地域農業の推進に努められたい。
- (7) 空き家対策については、地域と連携する事業が作られたことは評価できる。空き家の増加が加速する中においては、調査を前倒しで行い、利活用など対応策を強化されたい。
- (8) 消防団詰所の整備については、計画的に進められているものの、特にトイレの整備は、近年の時代背景と新たな団員の募集にも配慮しつつ、より速やかな施設整備を検討されたい。
- (9) 新型コロナウイルス感染症拡大は、児童・生徒の学びと成長（経験）に影響を与えている。学校をサポートする仕組みをさらに工夫して、子どもたちを支える体制を強化されたい。